



もうすぐ1年生(1年生)～3月6日(金)水沢こども園さんと交流しました～



1年生が水沢こども園との交流会を行いました。今日で2回めです。年長の皆さんに、入学を前に、小学校のことを少しでも知ってもらおうというねらいです。1年生の子どもたちは、昇降口へのお迎えから、会の進行や発表も、自分たちで行いました。はじめに、小学校の1年間、行事や授業のこと、宿題のこと、チャイムがあることなど、経験してきたことを1枚1枚のカードで伝えていきました。とても詳しく、そして、わかりやすくまとめられていて、とても聞きやすかったです。次に、ランドセル体験、字を書く体験、校歌を聞いてもらうというプログラムです。1年生の子どもたちが、ミニ先生になって、とても丁寧に教えてくれました。どれも、こども園の皆さんにとっては、新鮮なこと。はじめはドキドキしていた子たちも、いろいろなことが知れて、とてもうれしかったようです。最後には、サプライズで手紙を渡しました。堂々と司会をしたり発表したりしていましたが、「緊張したあ」と、本音は1年生もドキドキしていたようでした。



「水沢ならではの！」を学びました(6年生)①～3月5日(木)水沢の歴史を学ぶ～



6年生は「水沢の歴史を学ぶ」授業を実施しました。地域にあり、子どもたちも行事のたびに出かけて行くこと多い「足見田神社」の宮司さんをお招きし、「水沢町と水」の歴史についてお話していただきました。初めに「この場所、どこか分かる？」と一枚の写真を提示されました。それは「足見田神社」の外観でした。子どもたちもすぐに答えられました。「では、ここは？」と次々に写真が提示されると、子どもたちから「知ってる」「見たことある」「北谷の・・・」「東町の・・・」と正しい答えが返ってきました。自分の地区や通学路で見る場所などはすぐにわかったようです。後半は、この学校の児童も参加している「お諏訪踊り」の由来や歌詞の意味を詳しく教えてもらいました。「水が沢山ある水沢町」になるまでには「水がなく、農業をするのに大変困っていた」という事実があることや水を引くために先人たちが大変な努力をしたということも教えていただきました。自分たちが暮らす町について初めて知ることもありました。水沢の歴史を知ることによって脈々と受け継がれてきた歴史の中に自分たちもいるのだと感じたのではないのでしょうか。

「水沢ならではの！」を学びました(6年生)②～3月6日(金)お茶の淹れ方を学ぶ～



6年生が、茶農協の方を講師に迎え、お茶の淹れ方を学ぶとともに、保護者や地域の方々とのお茶会を行いました。はじめに、講師の先生から、お茶の生産量や体にとって良い成分など、資料やクイズなどを用いてお話を聞かせていただきました。水沢小の子どもたちにとっては、身近なお茶ですが、改めて、6年生のこの時期に聞かせていただいたこともあって、真剣に聞き入る姿が印象的でした。いよいよお茶の淹れ方。適度な温度に下げること、適量なお湯の量にするために、一度、湯飲みにお湯を注ぎ、1

0℃下げてから最初のお茶を淹れます。最後の一滴まで、しっかりと出し切ること、また、急須の蓋にある小さな穴は、注ぎ口の方を向けることなど、淹れ方のコツを教えていただきました。教えていただいたことを思い出しながら、各班で子どもたちがお茶を淹れました。保護者や地域の方の方も、準備をし、談笑しながらのお茶会となりました。最後には、一緒にお茶会を楽しんでいただいた保護者や地域の方に「ありがとうございました!」と、それぞれの班でお礼を言う姿がとてもよかったです。卒業前に、日ごろからお世話になっている保護者や地域の方と一緒に活動できたことも、小学校生活の思い出となりました。



発見! 水沢っ子の素敵な姿!!

6年生がお茶の淹れ方を学んだあと、保護者の方や地域の方と一緒にお茶会をしました。終わりには、地域の方から手作りのお土産のサプライズ。教室に戻ると、「みんなできちんと選んで分けよ!」と声をかけ、いただいたお土産を一つひとつ並べて分け合いました。周りのことを考えて行動できる6年生の素晴らしい姿でした!